

回覧													
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

アクティブ長洲小

長洲町立長洲小学校だより
 令和2年10月30日第11号
 文責 校長 川富 一弘

避難訓練～引き渡し訓練を行いました

令和2年7月豪雨から3か月、徐々に復興の兆しも見えているようですが、こうした自然災害に対する備えとして、子どもを保護者に直接引き渡す訓練を24日の土曜授業日に行いました。

実は今年度、7月に一度大雨により、児童の引き取りを保護者に依頼したという日がありました。学校からの一斉メールで予期せぬ呼び出しに各家庭には御迷惑をおかけしたところです。その際は車もしくは徒歩でのお迎えだったのですが、学校側も特に準備をしておらず、こうした対応への備えの重要性を痛感したところです。

そこで、今回は、地震及び津波発生を想定し、道路の寸断により車での引き渡しができない状況での引き渡し訓練を設定しました。児童は校舎屋上へ、地域の方々(下東区)にも参加していただき、校舎3階への避難を一緒に体験してもらうことにしました。



<屋上へ避難した子ども達>



<体育館での引き渡しの様子>



<お迎えの方々の受付と照合作業>

今回は、訓練ということもあって8割のご家庭がお迎えに来ていただき、引き渡し完了までの所要時間も35分でした。予告してこの高参加率と時間でしたが、もしこれが急な災害であれば、これ以下の割合で、引き渡しにも何倍もの時間がかかるのではないかと思います。しかし、大まかな様子と意識の喚起はできた分、意義があったと振り返りました。保護者の皆様、下東区の皆さん、お忙しい中にご協力ありがとうございました。

ふるさととの文化に触れる



町の生涯学習課の計らいで、町養魚組合をお招きして、4年児童を中心に、町の伝統的な産業である金魚養殖について学ぶ機会を得ました。

まずは教室で金魚養殖の歴史、現状について座学があり、その後、金魚すくい体験を行いました。翌週には金魚の競り見学までさせていただき、子ども達は地元長洲の代表的な産業について興味関心が高まったようでした。

コロナ禍におけるステイホームで金魚の飼育に人気も出ている一方で、祭りの相次ぐ中止で金魚すくいは激減しているとのこと。そんな中で、養魚組合の方々の苦労にも共感させられた時間となりました。



縦割り班そうじスタート

10月20日から、異学年でグループを作り、そのグループで火曜から金曜まで掃除をしています。低学年にやさしく教える高学年の姿や、なかなか話す機会のない人と活動する緊張感からかわずか10分間の掃除に黙々と取り組む姿が見られ、とても充実したいい活動ができています。

写真は校長室を掃除してくれる3名です。2, 3, 5年の女子のグループですが、とても仲良く楽しそうに掃除をしてくれています。他の掃除場所でも同様に、助け合いながら掃除をしています。本校の児童同士が学年を越えてつながり、仲間意識が高揚されることを期待しています。